

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		06 04 02	中期総合計画主要施策番号		1-04	担当課	部・課	環境部 自然保護課	
事業名		自動車利用適正化推進事業(上高地自動車利用適正化推進事業、乗鞍岳自動車利用適正化推進事業)					内線	2777	
							E-mail	shizenhogo@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	中部山岳国立公園内の上高地と乗鞍岳における自動車利用の適正化を推進し、優れた自然環境の保全と適正な利用を図る。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 上高地と乗鞍岳の自然環境の保全と快適な利用のためにマイカーの規制が求められている。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] マイカー等の規制を行わないと、渋滞に伴う排気ガス等による自然環境の悪化が引き起こされ、また予定以上の時間を費やされることにより、計画的な公園利用ができなくなり、上高地・乗鞍岳のイメージも損なわれる。							
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] 自動車利用の適正化による、更なる自然環境の保全と快適な利用環境の確保のため、マイカー規制を的確に実施していく必要がある。							
	事業内容	上高地自動車利用適正化協議会、乗鞍岳自動車利用適正化協議会に対する負担 (協議会が主体となりマイカー規制を実施)							
実施期間	H11 ~		根拠法令等		協議会規約				
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	上高地と乗鞍岳における自動車利用の適正化を推進し、優れた自然環境の保全と適正な利用を図る。		マイカー規制を引き続き実施していく。 上高地については観光バス規制も引き続き年間31日行う。			マイカー規制及び観光バス規制による渋滞解消により、自然環境の保全と滞在時間に余裕が生まれることで、ゆっくりとした散策が可能となっている。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	1,780	1,780	1,810	国庫・県単	県単	
	決 算 額 (B)		千円	1,780	1,780		実施方法	負担金	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	1,780	1,780	1,810	歳出節別内訳等	負担金: 1,780 (単位: 千円)	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.20	1.20	1.20			
	概算人件費 (C)		千円	8,568	8,568	8,579			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	10,348	10,348	10,389				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	上高地マイカー規制		日	通年	通年	通年			
	上高地観光バス規制		日	32	31	31			
	乗鞍岳マイカー規制		日	通年	通年	通年			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・代表的な自然公園である上高地と乗鞍岳の優れた自然環境の保全を求める声は大きく、協議会は利害関係者の協議、意見交換の場として機能を果たしている。 ・利害の異なる関係者の意見がある中で、県は自然公園の保護と利用の両面の立場から客観的に協議会運営に参画していく必要がある		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		更なる自然環境の保全と快適な利用を目指して年間の規制日数や方法について、環境省や松本市、旅館経営者、観光業者、バス・タクシー事業者等と引き続き、連携していく必要がある。							